

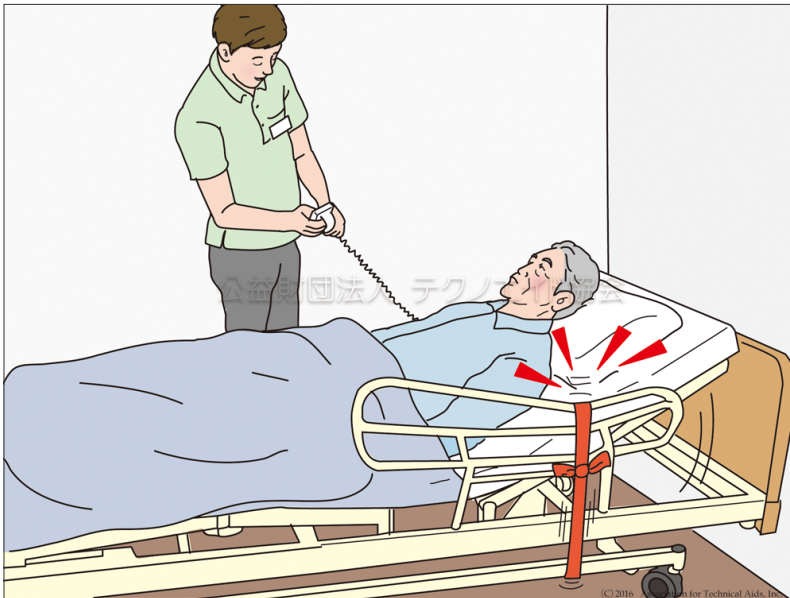
福祉用具ヒヤリハット情報

Case : 321

ベッド柵を外してしまわぬよう紐でしばっていたが、ベッドのベースフレームとしばってしまい、高さ調整の際に柵が破損しそうになる

場面の説明

ベッド柵を外してしまわぬよう紐でしばっていたが、ベッドのベースフレームとしばってしまい、高さ調整の際に柵が破損しそうになった



利用シーン

起居・就寝
リモコン操作

主な利用場所

寝室

介護保険の種目

特殊寝台付属品

分類コード(CCTA95)

181227(ベッド用サイドレール,
ベッド固定式起き上がり手すり)

介護テクノロジー

-

二次元バーコード



解説

認知機能の低下やせん妄状態のある人等は、ベッド柵を自ら外し、危険な行動を取る場合があります、それを予防するためにベッド柵を紐で縛っていたことが原因です。

この場合、ベッドのベースフレームに縛っていたために柵が破損しそうでしたが、ベッドフレームであれば予防できました。

参考要因

人：ベッド柵をベルトで固定していたことを忘れた

モノ：ベッド柵をベースフレームに固定していた

モノ：引き上げれば簡単に外せる構造のベッド柵だった